

東芝府中事業所内にあるラグビー練習場では、グラウンド施設整備の一環として照明器具の LED リニューアルを実施。1kW メタルハライドランプ器具に相当する明るさの LED 投光器を 112 台採用し、より明るく視認性のよい、均斉度が確保された練習環境が実現しました。

東芝ラグビー練習場は、2023 年現在ジャパンラグビー リーグワンに所属する東芝ブレイブルーパス東京の活動および練習の拠点として使用されています。天然芝と人工芝のグラウンドがあり、東芝ブレイブルーパス東京のチーム・個人練習、練習試合のほか、小中学生を対象としたループス塾やその他アカデミーなどでも使用されているラグビー用グラウンドです。



【物件概要】

所在地：東京都府中市東芝町1番地
 グラウンド面積：天然芝練習場／8,787.18 m²
 人工芝練習場／7,062.03 m²
 施主：(株)東芝
 設計：東芝プラントシステム(株)
 施工：東芝プラントシステム(株)
 リニューアル完成：2022 年 8 月

合計 112 台の 1kW クラス LED 投光器を採用し、薄暮時および夜間の練習環境を改善。

2022 年夏から秋にかけて、東芝ラグビー練習場では天然芝の張り替えや見学者スタンドの増設などが行われるとともに、老朽化が進んでいたナイター照明設備も LED リニューアルされました。

新たに採用された照明器具は 1kW 形メタルハライドランプ器具に相当する明るさの LED 投光器で、既設の照明柱はそのまま利用し、架台と器具をリニューアル。天然芝グラウンドには 2 本柱 1 基で計 8 基の照明柱にそれぞれ 8 台ずつの計 64 台、人工芝グラウンドには 6 柱× 8 台の計 48 台が設置されました。12.5 ～ 13.2m の高さから横幅約 70m ある広いグラウン

ドを隅々までムラを抑えて照らしています。グラウンドの照度は天然芝、人工芝ともに一般競技レベルである平均 200 ルクスを確保。調光機能付の特注仕様としたことで、100%、75%、50%、25% の 4 段階で変更でき、減光パターン利用時でも隅々までムラを抑えた良好な光環境を提供します。

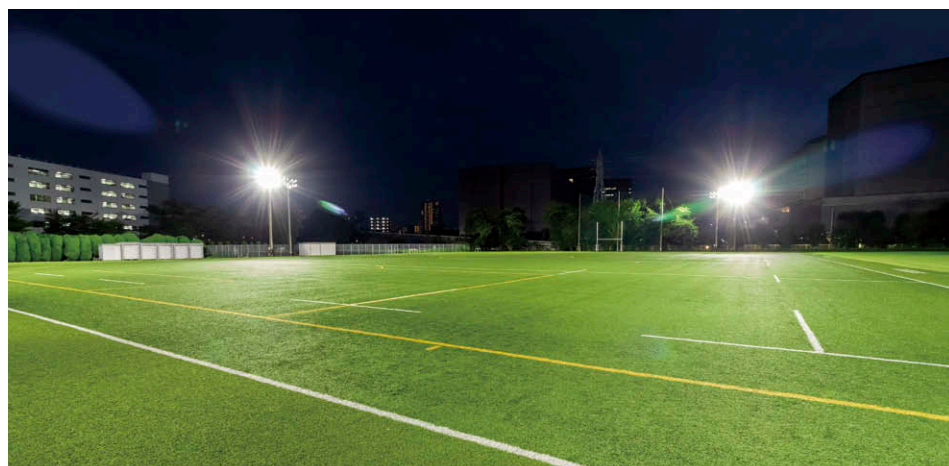
メタルハライドランプに比べ、漏れ光の少ない高温度の LED 投光器でグラウンド内をムラなく照明しているため芝生が際立ったように見えています。また、瞬時に点滅できる LED 投光器になり、準備が楽になったなど、選手やコーチ、スタッフほかループス塾の子どもたちからも好評です。



天然芝グラウンド LED投光器①②を64台採用し、均斉度の確保されたグラウンド照度を実現。



照明柱を2本柱1基として1カ所に16台のLED投光器①②を設置。



人工芝グラウンド アカデミーでの使用が多い人工芝グラウンドにはLED投光器①②を48台採用。



リニューアルされたLED投光器と取付架台。

主な掲載器具一覧						
設置場所	器具名 (品種名)			形名	台数	備考
屋外	①	LED 投光器 1kW 効率重視形メタルハライドランプ (専用安定器点灯形)	器具相当 中角形	LEDS-50409NM-LJ2 (特注)	96	消費電力：499W (200V)、497W (242V)
	②	LED 投光器 1kW 効率重視形メタルハライドランプ (専用安定器点灯形)	器具相当 広角形	LEDS-50409NW-LJ2 (特注)	16	消費電力：499W (200V)、497W (242V)